



# 校長室だより

第 4 3 号

令和3年12月23日(木)

大崎市立沼部小学校

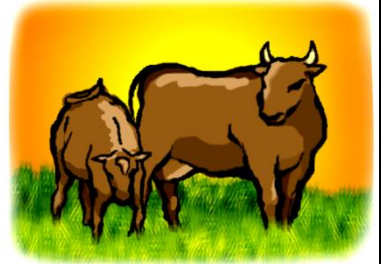
校長 吉田 浩之

## 令和3年 ありがとうございました

23日(木)に冬休み前全校集会がありました。子供たちに話した内容です。今回も両面になってしまいます。御容赦ください。

2021年、令和3年がもうすぐ終わります。みんなにとってはどんな一年だったでしょうか。校長先生にとっては、4月にみんなと出会えたことがとても大きな1年でした。ぬまっこのいいところをたくさん見せてもらいました。

今年は丑年でした。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物です。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢して耐える」「これから発展する前触れ、芽が出る」年になると言われていました。コロナの影響で我慢することが多かった1年だったけれど、我慢しなければならないことは我慢できたかな？芽が出るように、何か種をまいたかな？



今年は、1年遅れた東京オリンピック、パラリンピックがあり、日本の選手がとても活躍しました。金メダルもたくさん獲ったね。一流のアスリートの姿を見ると、とても感動を覚えます。そういう姿にあこがれる人も多いと思います。人にあこがれて、真似してみようと思うことは、「チャレンジしよう、やってみよう」とする種をまいたことにつながるんじゃないかなと校長先生は思っています。

来校者がいらっしやると、元気よく挨拶をしてくれるお友達がとても多いのがぬまっこのすばらしいところです。昇降口の靴箱にはきちんと靴が並べられています。「ぬくもりのある子ども」を目指してみんなよく頑張ったなあと思っています。こんなすばらしいぬまっこがいることは、校長先生の誇りです。

校外学習に出かけた学年もありました。地域の皆さんの力を借りて学習した学年もありましたね。6年生は修学旅行から元気に帰ってきました。

このように、先生以外の方から学ぶことが多かった期間でもありました。学校では学べないことを学ぶことができたり、人のやさしさに気付くことができたりしたと思います。

昇降口に「ぬまっこの木」冬バージョンが掲示されています。みんな見ているね。全員分

を紹介したいけれど、3人のお友達が書いてくれたものを紹介します。

○ みんなで育てたお米を、収穫祭でポン菓子やごはんにして、みんなで食べることができて楽しかったです。3年 高橋かなさん

○ 音楽集会で発表するダンスの練習で、動きを合わせることをがんばりました。

4年 浅野颯太さん

○ みんな毎日生活目標を守って行動できていたので、良いと思いました。

6年 久保ほのかさん

2学期のはじめに「声を掛け合って協力して活動できることがぬまっこのすばらしいところですよ。」とお話しました。さらに協力して活動できたことがとてもよかったと思います。

残念ながら、学芸会を実施することはできませんでしたが、みんなが感染予防にしっかり取り組んだおかげで、校舎内にみんなの歌声や、楽器の演奏が響き渡りました。また、高学年は調理実習ができました。コロナでできなかったことが少しずつできるようになってきたことに、1年のまとめとしてみんなで喜び合いたいと思います。これからも人込みの中ではマスクをしたり、うちに帰ってきたら手を洗ったりという感染対策をしっかり行っていきましょう。

いよいよ明日から、18日間の冬休みに入ります。宮城県では、コロナは落ち着いてきているように思います。そのために、去年の冬休みにできなかったことを計画している人もいるでしょう。どこかに出掛けたり、親戚の人に会ったりと、楽しいことが待っている年末年始になると思います。ただ、ここで気を抜いてはいけません。ルールやマナー、先生やお家の人との約束をしっかり守って、事故やけがのない楽しい休みを過ごしてください。

令和4年1月11日、火曜日、みんなの元気な笑顔に会えることを、先生方みんなですみやかに待っています。ぬまっこのみなさん、どうぞよいお年をお迎えください。

行事や、たて割り活動などを通して、子供たちが大きく成長した2学期前半でした。大きな事故などなく、子供たちが元気に登校してくれたことが何よりうれしいことです。これも保護者の皆さまに支えられ、多くの御協力をいただいたことに、ほかなりません。ありがとうございました。授業日数が短い年明け（旧3学期）ですが、来年もよろしくお祈りします。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

